

# ほら男爵の冒険 (1961)

BARON PRASIL

THE FABULOUS BARON MUNCHAUSEN [米]

メディア 映画

ジャンル ファンタジー アドベンチャー

製作国 チェコスロヴァキア

色彩 Color

時間 84分

初公開日 2004/12/25

公開情報 日本スカイウェイ=ケーブルホーク

## 【解説】

ビュルガーの有名な『ほら男爵の冒険』を幻想の魔術師カレル・ゼマンが映画化した冒険ファンタジー。空想好きなほら男爵が語る奇想天外な物語が、ユーモア満載にイマジネーション溢れる映像で綴られてゆく。もともと日本ではTV放映のみだったが、2004年12月にニュー・プリントにて本邦初となる劇場公開が実現。

宇宙飛行士のトニークは、ついに人類最初の一歩を月面に印す快挙を成し遂げ感無量の様子。ところが、そこにはすでに別の足跡が。やがて古風なロケットも見つかる。機体には“ジュール・ヴェルヌ、月世界旅行1865”の文字。結局トニークは、シラノ・ド・ベルジュラックとほら男爵ことミュンヒハウゼン男爵に熱い歓迎を受けるのだった。男爵の案内で地球へ向かったトニークは、トルコの宮殿で囚われの美女ピアンカ姫と出会う。男爵とトニークの活躍で、なんとかピアンカ姫の救出に成功するが…。

## 【クレジット】

監督 カレル・ゼマン

Karel Zeman

原作 ゴットフリート・ビュルガー

Gottfried Burger

『ほら男爵の冒険』(小学館刊)

脚本 カレル・ゼマン

Karel Zeman

ヨーセフ・カイナール

撮影 イジー・タランチック

Jiri Tarantik

音楽 ズデニェク・リシュカ

Zdenek Liska

出演 ミロシュ・コペツキー

Milos Kopecky

ミュンヒハウゼン男爵 (ほら男爵)

ルドルフ・イエリネク

Rudolf Jelinek

宇宙飛行士トニーク

ヤナ・ブレイホヴァ

Jana Brejchova

ピアンカ王女

カレル・ヘーグル

Karel Hoger

シラノ・ド・ベルジュラック

ルドルフ・フルシンスキー

Rudolf Hrusinsky

スルタン

ヤン・ヴェリフ

Jan Werich

船長